



2026年5月13日

各位

会社名 三菱ケミカルグループ株式会社
 代表者名 代表執行役社長 筑本 学
 (コード番号：4188 東証プライム市場)
 [報道関係]
 コーポレートコミュニケーション室
 TEL. 03-6748-7140
 問合せ先 [IR関係]
 IR室
 TEL. 03-6748-7120

2026年3月期通期業績予想と実績との差異及び役員報酬の自主返納に関するお知らせ

2026年2月5日に公表しました2026年3月期通期業績予想と本日公表の同期実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期(2025年4月1日～2026年3月31日)の連結業績予想と実績との差異

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	億円	億円	億円	億円	億円	円 銭
前回発表予想(A) (2026年2月5日発表)	36,720	2,500	700	1,148	470	34 29
実績(B)	37,040	2,250	301	784	118	8 63
増減額(B-A)	320	△250	△399	△364	△352	
増減率(%)	0.9%	△10.0%	△57.0%	△31.7%	△74.8%	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	39,476	2,288	1,416	1,056	450	31 64

税引前利益 前回発表予想 360億円 実績 7億円

注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な原因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。当社は、田辺三菱製薬株式会社の全株式及び関連資産を吸収分割により譲渡する契約の定時株主総会(2025年6月25日)での承認に伴い、同社及びその子会社等の事業を2025年7月1日付で譲渡いたしました。同社及びその子会社等の事業を期初から非継続事業に分類しており、2026年3月期及び2025年3月期の売上収益、コア営業利益、営業利益、税引前利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。なお、田辺三菱製薬株式会社は2025年12月1日付で田辺ファーマ株式会社に商号変更しております。

2. 差異の理由

スペシャリティマテリアルズセグメントにおいて三菱ケミカル英国社のソアノール製造設備に関する減損損失を計上したこと、ベーシックマテリアルズ&ポリマーズセグメントにおいて三菱ケミカル社の酸化エチレン及びエチレングリコール類製造設備に関する減損損失を計上したこと等により、コア営業利益以降の各段階損益が前回発表予想値を下回る結果となりました。

<ご参考>

セグメント別通期業績予想（コア営業利益）

（億円）

	実績	前回発表予想	増減額
スペシャリティマテリアルズ	323	650	△327
MMA&デリバティブズ	△15	△10	△5
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	△42	△10	△32
産業ガス	2,007	1,890	117
その他	△23	△20	△3
合計	2,250	2,500	△250

3. 役員報酬の自主返納について

上記ソアノール製造設備に係る減損損失の計上を受け、代表執行役社長及び当社の連結子会社である三菱ケミカル株式会社の当該事業所管役員より、役員報酬を自主返納したい旨の申し出がございましたので、当社及び三菱ケミカル株式会社は、これを受理することといたしました。

（1）役員報酬の自主返納の内容

代表執行役社長

: 月額報酬の20%

三菱ケミカル株式会社 フィルムズ&パフォーマンスマテリアルズ所管 常務執行役員

: 月額報酬の20%

（2）対象期間

6か月

以上